

動物看護師を目指す専門学生による動物介在禁煙推進活動

1) 西本 奈穂 1) 本田 愛

Nao NISHIMOTO Ai HONDA

1) 志形 愛 1) 石丸 昌子 2) 竹花 正剛 2) 石丸 邦仁

Ai SHIGATA Yoshiko ISHIMARU Seigo TAKEHANA Kunihito ISHIMARU

他、動物看護師専攻 2年 76名

1) 大阪コミュニケーションアート専門学校 動物看護師専攻学生 2) 同講師・教官

3) NPO法人社会動物環境整備協会

【はじめに】

応用衛生学・課題研究として、毎年行われる『知識のワクチン・動物介在禁煙推進活動』の2008年度活動について報告する。

【活動の目的】

タバコの人体への影響については、多くの研究報告がある。しかし、動物への影響についての報告は少ない。そこで動物看護師の立場から、これまで継続的に行ってきた『知識のワクチン』の中で動物介在禁煙推進活動を実施する。その目的は次の通りである。

動物に対して、

動物の福祉、QOLの向上

飼育者に対して、

禁煙や減煙を促進、動物介在禁煙活動の普及

自身に対して、

人とのコミュニケーション能力の向上

人に何かを伝えることの実践的練習

【対象】

【目的の対象】

動物飼育者で、動物関連業種に携わっていない喫煙者 70名

【目的の対象】

本校動物看護師専攻学生 78名

【方法】

2008年の夏休み期間中に『知識のワクチン・動物介在禁煙推進活動』を作成し、それを参考資料として喫煙者に示し、『動物の前での禁煙』指導を実施する。

指導体験を経過報告レポートにまとめる。

9月より、作成した参考資料と指導経過報告

書レポートを回収しあらかじめ用意した集計

表(写真A)にデータを入力し、集計する。

【目的の結果】

総数	71名	
禁煙達成	7名	9.9%
分煙	23名	32.3%
減煙	13名	18.3%
認識のみ	15名	21.1%
効果なし	12名	17.0%
対象者なし(無効)	1名	1.4%

【目的の結果】

【活動への参加率】

レポート提出数	71名	91.0%
総学生数	78名	

【活動の自己への効果認識】

認識あり	50名	70.4%
どちらでもない	13名	18.3%
認識なし	8名	11.3%

【動物への煙草の害の記載】

記載あり	43名	60.6%
記載なし	28名	39.4%

【対象者に配慮した資料の作成】

配慮あり	48名	67.6%
配慮なし	23名	32.4%

【今後の課題の記載】

記入あり	54名	76.1%
記入なし	17名	23.9%

【丁寧な資料の作成】

している	43名	60.6%
していない	28名	39.4%

〔考察〕

〔目的の結果に関して〕

目的の結果が示すように、目的の動物に対して、43名60.6%の飼い主に禁煙や分煙・減煙といった禁煙推進活動の効果がみられ、福祉やQOLの向上が出来たと考える。

特に、約1割の喫煙者が禁煙への行動変容がみられた事は、この活動の大きな成果であると考えられる。

〔目的の結果に関して〕

〔活動への参加率〕

応用衛生学は動物看護士自らが課題に関して創意工夫をして実践体験する授業である。応用衛生学の課題ではあるが各自のモチベーションの違いで不参加が1割近くいたことから、この活動の目的についての導入の仕方、学生への意識づけに関して、今後検討すべき点が多い。

〔活動の自己への効果認識〕

教える立場として(禁煙)を考えたとき、各々の考えの違いを理解し、相手の気持ちに即した指導をすることの難しさを体験したこと、指導者として再度(喫煙の害)を学びなおしたことで、自身への受動喫煙の被害を再認識した、などの効果が見られた。

〔動物への害の記載〕

参考資料より、写真、図、グラフを引用して動物への害について視覚的にまとめている学生が多かった。

(写真B, C, D)

〔対象者に配慮した資料作成〕

飼育している動物種の生態を考えて記入するなど、工夫が見られた。

〔今後の課題〕

クライアント指導の模擬体験でもあったこの活動は、今年、日本禁煙学会から活動助成金を得て【動物介在禁煙推進活動】として啓発ポスターを作製した。このポスターを持参して動物病院に向け掲示をお願いする活動を展開中である。『知識のワクチン・動物介在禁煙推進活動』を作成するときに得た喫煙の害の自己認識・動物福祉の観点からの活動の重要性認識などを駆使して、院長先生方に活動へのご理解とご協力をお願いしているところである。自分から煙を避けることのできない動物達のために、これからもこの経験を生かし地道に個別活動を継続していけるように努めたい。

(写真A)



(写真B)



(写真C)



(写真D)

